

区民かわら版

京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】でお出掛け



ご確認ください

Q 「京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】」と「京都観光一日乗車券」は、どこが大きく違うのですか？

A 京阪バスにも乗車できるのが京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】の特長です。購入される際は、乗車券の表面の「【山科・醍醐拡大版】」の表示をご確認ください。どちらの乗車券もお好きな一日、下記の有効区間が乗り放題です。

	京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】	京都観光一日乗車券
販売額	1,300円 +100円で有効区間がぐんと広がります！	1,200円
有効区間	- 京都市バス全線（定期観光路線を除く） - 京都市営地下鉄全線 - 京都市バス（大原・岩倉・嵐山エリアの範囲内及び京都市内中心部の路線。比叡山線、大京鞍馬線など一部路線を除く） - 京阪バス（山科・醍醐エリア及び京都市内中心部の路線。京都比叡山線、京都比叡平線、定期観光バス、高速バスなど一部の路線を除く）	

京都観光一日乗車券
【山科・醍醐拡大版】
平成23年3月31日(木)まで販売

次の場所で購入できます

交通局

市バス・地下鉄案内所（交通局サンサ右京、北大路駅、京都駅前、京都駅地下街、烏丸御池駅）、定期券発売所（四条駅、竹田駅、二条駅、三条京阪駅、山科駅、六地藏駅）

京阪バス

山科駅案内所

問合せ先 交通局企画課（☎863-5065）

Q 春、遠方から友人が遊びに来ます。京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】を使って山科を案内したいのですが、お勧めスポットはありますか？

京都刑務所では、皆さんに刑務所内の様子や受刑者の社会復帰に向けての取り組みについて知っていただき、刑務所の運営に更にご理解とご協力をいただくため、刑務所の見学会を行います。

日時 3月9日（火） 午後1時30分～3時ごろ

場所 京都刑務所（東野井ノ上町20）

対象 区民または区内に通勤通学の方

定員 40名 費用 無料

申込方法 官製はがきに、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、職業、電話番号を記入のうえ、2月28日（日）（消印有効）までに、〒607-8144 東野井ノ上町20 京都刑務所まで。申込多数の場合は抽選。当選された方には、「参観許可証」をお送りします。

問合せ先 京都刑務所（☎581-2171）

京都刑務所を見学しませんか

刑務所は、裁判で決まった懲役、禁錮などの刑を執行する所ですが、その執行の過程を通じ、受刑者に再び罪を犯すことのない善良な市民になるよう教育することを目的としています。受刑者は、やがては社会復帰するものであり、「今度こそ真面目に生活しよう」という決意で出所していきます。その一方、「社会が受け入れてくれるだろうか」と不安な思いを抱いているのも事実です。



山科区地域介護予防推進センター

各種教室開講

当センターは、市が社団法人愛生会に委託して運営する施設です。皆さんが年齢を重ねても、住み慣れた地域でいつまでも健康に生活していただけるよう、次のような教室を開催しています。

費用 無料（教室により実費負担あり）

対象 区内在住の65歳以上で介護保険のサービスを使っていない方

場所 愛生会山科病院／竹鼻四丁野町19-4※1
介護老人保健施設おおやけの里／大宅向山10-5※2

申し込み・問合せ先 山科区地域介護予防推進センター（愛生会山科病院内）（☎583-6205）

教室名	内容	日時	場所
転倒予防教室	体力測定、体操、レクリエーションなど	週1回 (全12回)	愛生会山科病院※1 (水曜日開講) 介護老人保健施設 おおやけの里※2 (金曜日開講)
シルバー世代のための栄養教室	お話、お食事のバランスチェック、ゲームなど	第3木曜日 (全6回)	愛生会山科病院※1
女性のための尿失禁予防講座	体力測定、骨盤底筋体操、お話	隔週火曜日 (全6回)	愛生会山科病院※1
イベント	体と頭いきいき講座、ウォーキング講座、食事バランス講座、食事で骨を強くしよう症予防講座など	単発 (概ね月1回)	愛生会山科病院※1 介護老人保健施設 おおやけの里※2

地域福祉を考えるシンポジウム

地域の福祉活動、取り組みを様々な視点から考え、地域における住民同士の身近な支え合いの充実を図るためのシンポジウムを開催します。

井岡勉さん（同志社大学名誉教授）と学区や地域に関係する方々の取り組みを紹介します。

ぜひ、ご参加ください。

日時 2月25日（木） 午後1時30分～4時

場所 東部文化会館

（柳辻西蒲町）

定員 約160名

申込方法

当日先着順

※手話通訳・要約筆

記が必要な方は、2月22日（月）までにご連絡ください。

問合せ先 区支援課支援第一担当（☎592-3247）、
山科区社会福祉協議会（☎593-1294）



A 春の山科は見どころもりだくさん。中でも春の訪れを知らせる“梅”の名所をご紹介します。また、山科だけでなく、市内中心部への観光や買い物も、京阪バスや地下鉄で行くことができ、大変便利です。

随心院

【観梅会 3月1日～31日、はねず踊り 3月28日】

（地下鉄東西線「小野駅」下車徒歩5分、または京阪バス「小野バス停」、「随心院バス停」いずれも下車すぐ）

紅梅が春の訪れを知らせます

勧修寺

（地下鉄東西線「小野駅」下車徒歩5分、または京阪バス「勧修寺バス停」下車すぐ）

臥竜の老梅の
美しさをぜひご覧ください

また、次の寺院でこの乗車券を提示すると、拝観料の優待割引が受けられます。

・岩屋寺・勧修寺・随心院・毘沙門堂
たっぷり春を堪能できるコースをぜひ見つけてください。

問合せ先 区総務課企画広報担当（☎592-3066）

藤原定方とさねかずら

名にし負はば 逢坂山の さねかずら
人に知られで くるよしもがな

「逢ふ」「さね」を名に持つ「逢坂山のさねかずら」。さねかずらがソルを簡単にすると「繰る」ことができるように、私も人に知られないであなたのもとにたやすく「来る（行く）」方法があればよいのに。

この歌は、小倉百人一首に収められている三条右大臣藤原定方の詠んだ恋の歌です。

定方の母である宮道列子は、現在、勧修寺のある地で豪族・宮道氏の娘として生まれ、名門の貴公子・藤原高藤との恋を交わしました。この二人の間には定方のほか、胤子という娘がいました。胤子は後に入内し、醍醐天皇の生母となりました。

勧修寺は、醍醐天皇が母・胤子の菩提を弔うために定方に命じて建立させたものです。隣接する宮道神社には、藤原高藤・列子夫婦と定方が祭られています。

定方は和歌や音楽に優れた文化人であり、「三条右大臣」の名前で歌を残しています。思いを寄せていた女性との間が世間に知れ、会うことが難しくなった時の心情を詠んだ定方。

歌に詠まれたさねかずらは、地元の皆さんに大切に育てられ、今回、宮道神社崇敬会からそのさねかずらを山科区役所に寄付していただきました。

区役所前に鉢分けされたさねかずらは、つるを伸ばし成長しています。来庁された際にはぜひ、ご覧ください。

問合せ先 区総務課企画広報担当（☎592-3066）

